

## 9月議会の日程

8月25日(月)	議会運営委員会	
9月2日(火)	本会議	提案
3日(水)	本会議	総括質疑
4日(木)	厚生常任委員会	
5日(金)	厚生常任委員会	
6日(土)		
7日(日)		
8日(月)	厚生常任委員会	
9日(火)	建設企業委員会	
10日(水)	建設企業委員会	
11日(木)	建設企業委員会	
12日(金)	文教経済委員会	
13日(土)		
14日(日)		
15日(月)		
16日(火)	文教経済委員会	
17日(水)	文教経済委員会	
18日(木)	総務常任委員会	
19日(金)	総務常任委員会	
20日(土)		
21日(日)		
22日(月)	総務常任委員会	
23日(火)		
24日(水)	一般質問	
25日(木)	一般質問	
26日(金)	一般質問	
27日(土)		
28日(日)		
29日(月)		
30日(火)	本会議	討論等

# 9月議会がはじまります

## 9月2日～30日

9月議会の主要な議案は、平成14年度の各会計の決算審査です。

### 黒字 だが？

収支の総括表を下に掲載しました。病院会計以外は、一応「黒字」ですが、みんな借金を収入に入れての話です。一般家庭の家計なら借金は収入に入れて考えませんが、これが行政の財政との最大の違いでしょうか。

### 小泉不況の影響深刻

市民税が大きく落ち込んでいます。あらかじめ低く見積もった「当初予算を1億2200万円余り下回る181億3464万円の

決算となり、前年度に比べて7億8369万円、4.1%の減となりました。」  
まさに小泉不況が直撃しているという状況です。

### 滞納も急増しています

一般会計の滞納(収入未済額)が12億8000万円という巨額になっています。不納欠損処理、いわゆる取りっぱぐれも1億円を超えています。

国保税でも同様で、滞納が8億4000万円、取りっぱぐれが6359万円にもなり、収納率78.1%は20市中19位です。取り立てを厳しくしても問題は解決しません。庶民の懐を暖める経済政策が唯一の処方箋です。

平成14年度決算収支(千円)

	歳入	歳出	差引
一般会計	53,761,779	52,524,026	1,237,753
国民健康保険	8,380,463	8,083,395	297,068
診療所	3,863	3,863	0
索道事業	31,740	31,740	0
下水道事業	10,126,746	10,055,335	71,411
老人保健	12,292,421	12,195,998	96,422
農業集落排水事業	2,228,113	2,188,370	39,743
介護保険	5,627,458	5,457,283	170,175
地球環境	193,044	191,973	1,071
病院事業(収益的収支)	1,544,356	1,551,488	7,132
病院事業(資本的収支)	1,914,465	1,947,878	33,413
合計	96,104,453	94,231,354	1,873,099

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

## 市政レポート

2003年8月31日 48  
発行 杉本敏宏事務所  
上越市東本町5丁目1番38号  
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

# 立山縦走の記

8月15～18日に夏休みを取って、立山から劔岳に登る計画で出かけた。

15日は暗くなつてから家を出て、立山駅近くの無料駐車場に車を入れ、車中で就寝。霧が深く、先行きが心配された。

16日。昨夜空いていた駐車場も朝には満杯。朝から青空が広がり、快適な登山が約束されたようだった。10分おきに出るケーブルの3便に乗り、美女平からバスに揺られ、室堂へ。

「今日は劔御前小舎まで」と初めから決めていたので、好天の中、室堂から立山を縦走して、劔御前小舎へ向かうことにした。

室堂の人影はまばら。整備がされすぎ



富士の折立から劔岳を見る

た感じがする。ヨツバシオガマの群落が歩道脇を紅く染めている。

一の越まではまだ所々に残雪がある。雪消えが例年よりも遅いのだろうか。一の越から見ると後立の峰々には雲がかかっている。それが黒部の谷へ垂れ下がっている。あれが押し寄せてくると天気は崩れるだろう。それにしても雲の動きが逆じゃないか？

雄山。眼下に濃緑色の黒四ダムが見える。「ここからはぐんと人が少なくなる。大汝(だいなんじ)には、非難小屋がある。素通りする。トウヤクリンドウがここに群落をつくり、濃紫色のイワギキョウが今を盛りとしている。

富士の折立からは急な下りになる。イワツメクサが塊になって咲いている。鞍部から、真砂岳へは緩い稜線歩きになる。前方の劔岳が時折沸きあがってくる雲にかき消されてしまう。手前の源次郎尾根と奥の八つ峰がこの山を特徴付けている。「もうあの岩を攀じることもないだろうな」と妙に感慨深くなる。

別山に登れば今日の行程は終わりだ。劔御前小舎には、早く着きすぎたので、ゆつくりと昼寝を楽しむ。明日劔岳に登る予定だが、雲行きが怪しくなり、夜半から雨。二日ほど降り続くという天気予報に、劔岳は断念して帰ることにする。

天候の変化が、天気予報よりも半日から一日位早く動いているようだ。

立山駅	6:20
室堂	7:20-7:40
一の越	8:20-8:30
雄山	9:15-9:30
大汝山	9:50
富士折立	10:05-10:25
真砂岳	11:00-11:10
別山	11:55-12:10
劔御前小舎	12:30

まず回答から。正解は、「こんなばかな話はないです。」「のばかな」と余りにもばかにし過ぎる「のばかな」が「不適切発言だ」という指摘です。

正解者は、一人だけでした。「欠陥」をあげた方もありましたが、残念でした。

ところでこの「ばかな」が何故「不適切」なのでしょう。該当部分をもう一度見ましょ。

第11条、会議に諮る事項をあらかじめ協議、調整する幹事会というのが置かれますが、このメンバーは助役や収入役というふうになっております。しかし皆さん、助役、収入役はこの会議の委員ではないんです。この会議の委員ではない助役や収入役が会議に諮る事項をあらかじめ協議、調整する、こんなばかな話はないです。これは役員会がやる仕事です。何でこんな規約になるのか、私はこの規約を読んでいて、もう何だこれはという怒りといいますが、余りにもばかにし過ぎるというふうに思いました。役員会をつくらなかったことによる問題がこういうふうにいるところへ出てくる。

発言の全体からすれば、なにも「不適切」ではないでしょう。「ば

## 言葉狩り

## クイズの回答です

かな」という単語を切り出して、そこだけを問題にしているとしか考えられませんか。まさに言葉狩りです。実は石平春彦議員には、こうした言葉狩りの前歴があります。私が入札制度の改善の一般質問をした際、「予定価格を公表すれば、それよりも高い札を入れるようなバカな企業はありません」という私の発言に、「バカな企業」というのは、不適切な発言だ」とクレームをつけてきたことがあります。発言の前後の文脈をいっさい無視し、その単語だけを抽出して「不適切だ」とクレームをつける。ここに石平議員の特殊な態度があります。このような「文脈を無視して単語だけを抽出する」という人たちは以前もいました。革マル派とか中核派とかブンド派とかのトロッキスト、新左翼(みん)

んな死語ですか)の論陣とするとどうでしたし、部落解放同盟もこうしたやり方で「糾弾」をして来るのです。これらの輩は、本当に不適切な発言や、差別的発言を実は見逃してやったりしているのです。

同議員が執拗に教育長に難癖をつけている「個性」問題も、実はこのたぐいなのです。